



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2022年
5月20日
発行

第133回

「日本株の逆襲」

～日本株に期待する3つの理由～

初めに

昨年は日本株にとって散々な年でした。好業績は評価されず、MSCIの銘柄入れ替えでは比率を減らされて日本株売りを余儀なくされました。しかし、今年ここまで日本株の動きは米国株などを上回っており、今後も好調に推移すると予想しています。今回は、日本株に期待する理由をお話しします。

円安は日本株にプラス

今後も米国の利上げは続き、日米の金利差は拡大するとみています。これは輸入企業にとってはコスト増ですが、今回の決算発表でも見られたように、輸出企業にとってはプラスになります。このたびの円安による業績引き上げ効果が、日本株に期待する理由の一つです。

バリュエーションは依然割安

ここにきて差は縮んできましたが、日米のPERを比較すると、日本株は13倍程度と、米国株に比べて依然として割安です。これも日本株の魅力を高めるものと考えられます。4月26日付け日本経済新聞も、バブル度が低い日本株が米国から逃げ出した資金の受け皿になる、との記事を掲載しています。これが日本株に期待する2つ目の理由です。

GAF A時代に翳り

今回の米国の業績発表で注目されたのが、GAF Aと呼ばれるIT大手4社の変調です。いずれもインフレの影響などで4社中3社が減益・赤字とのことです。自分はこの決算について、これまで米国の株式市場を牽引したGAF Aの時代の終焉をあらわすものとみています。安定した景気や社会を条件に、GAF Aは消費者を主要顧客とするビジネスで成長しましたが、インフレや地政学リスクなどによってその前提条件が揺らいだ、これがGAF A不振の原因です。現在、世界では地球温暖化や地政学リスク、エネルギー安保、食糧安保など様々な課題が噴出しており、GAF Aの高成長を支えた安定が戻ってくるには時間がかかりそうです。

一方、製造業の多い日本の株式市場にとって、この状況はピンチかもしれませんが、同時にチャンスでもあるとみています。先程述べた課題克服のためにはGAF Aのようなサービス業の出番はあまりありませんが、技術を持つ製造業にとってはチャンスと考えられるからです。これも、自分が日本株に期待する理由の一つです。

以上のように考えると、昨年は日本株にとって良い年ではありませんでしたが、今年、それからその先も、日本株は有望な投資先と考えています。



チーフストラテジスト
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。